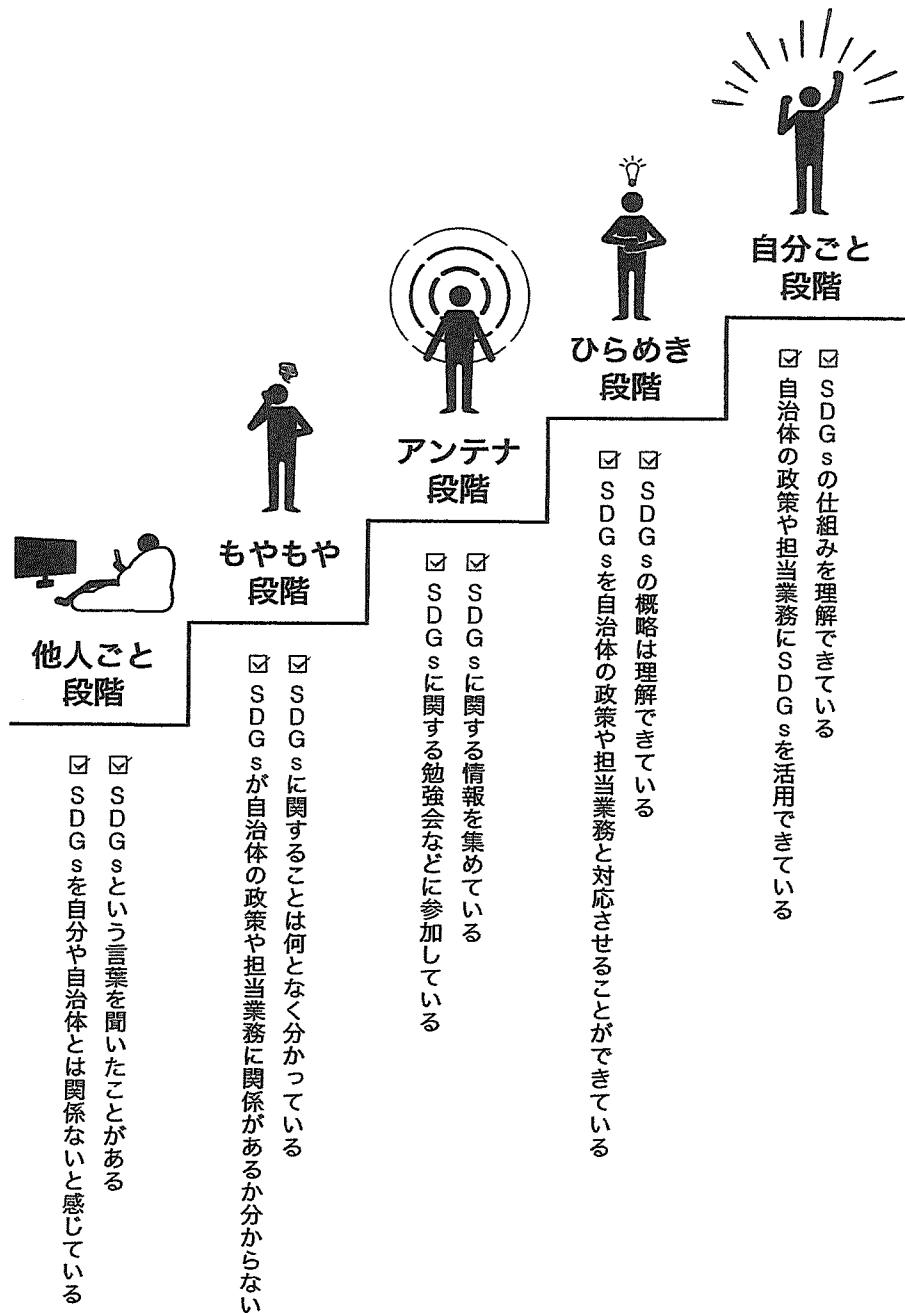
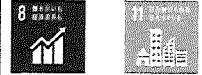


あなたにとって、SDGs はどの段階ですか？



令和元年度 SDGs関連事業及び予算

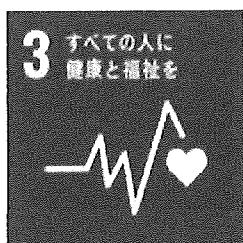
No.	事業名称	事業概要	予算額 (千円)	関連する SDGs の目標	総合計画の位置付け					担当	
					基本 方針	基本 政策	施策	視点	主な 取組	部 局	所 属
1	SDGs推進事業	大津市SDGs推進会議を運営して重点取組事業を中心に連携を深めるとともに、各ステークホルダーとの連携や周知・啓発に関する取組を進め、さらには研修等により、職員意識の向上を図る。 ・大津市SDGs推進会議の運営 ・出前講座のメニュー登録 ・参考図書の学校への配布 ・大学・学生との連携 ・滋賀×SDGs交流会等を通じた各ステークホルダーとの連携 ・新規採用職員等、職員の意識向上に係る取組	675	1~17	3	13	38	3	1	政策調整部	企画調整課
2	情報政策推進事業	大津市デジタルイノベーション戦略に基づき、AIをはじめとしたICT等の先端技術を導入することにより、行政事務の効率化及び、市民の利便性向上を図る。	43,778		3	13	38	1	7	政策調整部	イノベーションラボ
3	広報おおつ発行事業	広報紙「広報おおつ」を制作、発行し、市政情報を市民に提供することで、透明性の高い公共機関を発展させる。	70,842		3	13	40	2	2	政策調整部	広報課
4	市政広報事業	各報道機関への情報提供やテレビ、ラジオ等を媒体とした市政広報活動を促進することで、透明性の高い公共機関を発展させる。	23,423		3	13	40	2	2	政策調整部	広報課
5	LGBT支援プロジェクト	性的マイノリティに関する理解促進と支援の必要性の認識を広げ、推進へのきっかけとして「おおつレンボー宣言」を実施し、このことを契機に市民啓発及び理解促進を目的とした取組を通じて、市民による性的少数者への理解と共感の向上に努める。	2,230		1	4	15	1	1	政策調整部	人権・男女共同参画課
6	Otsuプロジェクト-W	平成28年12月に策定した「大津市女性活躍推進計画」に基づき、職業生活におけるジェンダー・ギャップの解消とディーセンターワーク向上への機運醸成を目指して女性活躍推進重点事業「Otsuプロジェクト-W」事業を推進する。	6,118		1	4	16	2	1	政策調整部	女性力室
7	働き方改革推進事業	・モバイルワーク実施所属の拡充 ・在宅勤務実施者の拡充	10,164		3	13	38	1	7	総務部	人事課
8	まちづくり協議会設立支援事業	地域住民、各種団体、事業者等が集まり、連携・協力して地域の課題を協議により解決し、地域の実情に合わせた住民主体のまちづくりを目的とする「まちづくり協議会」の設立に向け、設立準備にかかる経費の一部を補助する。また、地域からの要請に応じて、設立準備やその前段階における地域での協議の場に市職員が参画する。	1,600		1	4	14	1	3	市民部	自治協働課
9	子ども・若者総合相談窓口	平成29年10月に、引きこもり等、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者とその家族を対象に、大津市子ども・若者総合相談窓口を開設した。相談員が、これからのことと一緒に考え、問題解決を支援する。(委託先:大津市社会福祉協議会)	6,065		1	3	13	1	2	市民部	文化・青少年課
10	おおつっこ相談LINE推進事業	いじめや友だち関係でなやんだときに相談できる窓口として、電話や手紙などに加えて、SNSのひとつであるLINEを活用して相談できる体制を整えることにより、相談しやすい環境づくりを推進する。	13,236		1	1	3	1	1	市民部	いじめ対策推進室

SDGsに関する山陽小野田市立山口東京理科大学の行動指針

山陽小野田市立山口東京理科大学は、基本理念の下、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する教育研究活動に取り組み、地域社会における健康で豊かな暮らしの持続を牽引します。

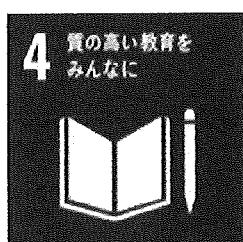
SDGsに関する山陽小野田市立山口東京理科大学の行動指針を示す意義

人類共通の今日的課題である SDGs に貢献することは、山陽小野田市立山口東京理科大学の基本理念である「世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな人材の育成」に資するものです。山陽小野田市立山口東京理科大学は、国際目標である SDGs を視野に入れ、工学・薬学・人文社会学・自然科学を総合した視点により、科学技術のイノベーションと薬学をとおした健康増進を思考・俯瞰できる人材を地域社会に送り出します。



主な研究課題

- ・新しい制がん剤の開発
- ・がんの発生と制御を有機化学的に解明する研究



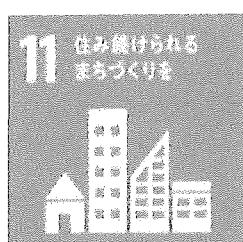
主な研究課題

- ・小中高大連携によるカリキュラム研究
- ・物理教育教材の研究



主な研究課題

- ・宇宙における原子力の平和利用について
- ・水素製造・利用技術の基礎研究



主な研究課題

- ・防災教育に関する研究
- ・地域包括ケアシステムにおける薬局の機能と薬剤師の役割



私たちの日常とSDGs ~市民・企業・団体が一丸となり、SDGs達成へ~

「市民」として、私たちができること

特別なことをする必要はありません!

◎「市民」として、SDGsの達成に向けて、まず最初に取り組んでいただきたいのは、「SDGsの取り組みを応援すること」です。

◎新たなことを特別に行うのではなく、以下のような「ちょっとした気付き、行動」が大切です。

- (1)自らの生活を見つめ直す
- (2)SDGsの取り組みの応援団となる

〈具体例〉

- 健康増進のために、歩行(ウォーキング)で通勤する
- SDGsに取り組む企業の商品を積極的に購入する



◎また、SDGsに関心を持った方は、ぜひ市民活動団体などで、SDGsに関する活動に参画していただければと思います。



「市民活動団体(NPOや自治会等)」として、私たちができること

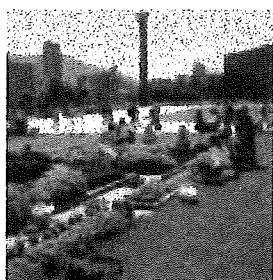
新たに活動するのではなく、ちょっとしたひと工夫で!

◎「市民活動団体」として、取り組んでいただきたいのは、SDGsを活用して「団体の取り組みをアピール」するということです。



◎新たなことを特別に行うのではなく、以下のような取り組みが大切です。

- (1)今行っている活動がSDGsにつながるか考える
- (2)そして、その活動が、17ゴールのうち、どのゴールに関連するか検討し、ホームページ等でゴールのアイコンを掲載し、PRする



◎このように、PRしていただくことで、以下の効果が考えられます。

- 他団体とのコラボレーションの可能性が生まれる
- 新たに団体の活動に参画してくれる人を獲得できるチャンスが拡大する

(例)植樹や清掃活動など

「企業(事業者)」として、私たちができること

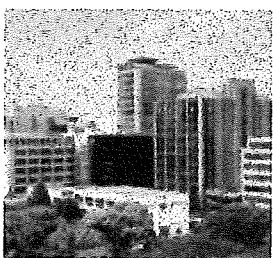
企業として、SDGsの取り組みをPRすると…

◎「企業」の皆様には、是非、自社の企業活動全般をSDGsの視点で見直し、SDGsに資する取り組みを大いにPRして下さい。

◎このようにPRすると、以下の効果が考えられます。

- 企業ブランドの向上により、売上げの増加につながる
- 生産や調達方法を見直すことで、経営課題の抽出が期待できる
- 国内外の投資家の評価が高まる(ESG投資等)

※ESG投資：企業の「環境・社会・ガバナンス」に関する活動を考慮した投資



◎SDGsの取り組みを評価するのは「市場」です。取り組みを進めることで「販路拡大や顧客確保による、企業活動の拡大」などのメリットが大いに期待できます。

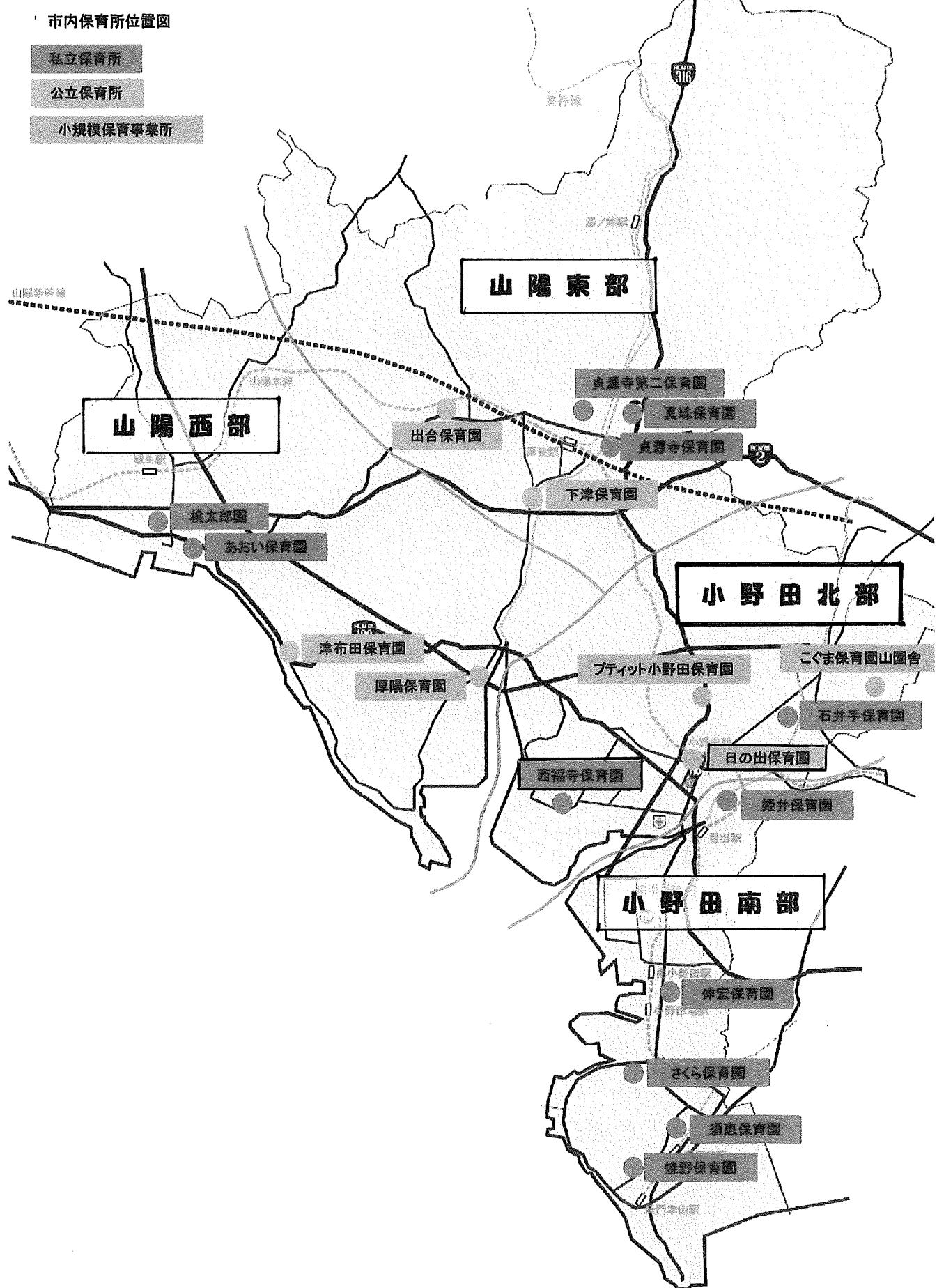


表1 保育所整備状況（令和2年度）

地区	入所需要量(A) 人	保育所定員(B) 人		(B)－(A) 人
小野田南部	492	540	私立	540
			公立	0
小野田北部	468	332	私立	212
			公立	120
山陽東部	336	400	私立	220
			公立	180
山陽西部	110	195	私立	90
			公立	105
合計	1,406	1,467	私立	1,062
			公立	405

※入所需要量は令和2年時点

表2 保育所整備状況（日の出保育園建替後）

地区	入所需要量(A) 人	保育所定員(B) 人		(B)－(A) 人
小野田南部	492	540	私立	540
			公立	0
小野田北部	468	322	私立	152
			公立	170
山陽東部	336	360	私立	220
			公立	140
山陽西部	110	150	私立	90
			公立	60
合計	1,406	1,372	私立	1,002
			公立	370

※入所需要量は令和2年時点

表3 保育所整備状況（令和4年度）

地区	入所需要量(A) 人	保育所定員(B) 人		(B)－(A) 人
小野田南部	492	540	私立	540
			公立	0
小野田北部	468	272	私立	152
			公立	120
山陽東部	336	360	私立	220
			公立	140
山陽西部	110	150	私立	90
			公立	60
合計	1,406	1,322	私立	1,002
			公立	320

※入所需要量は令和2年時点